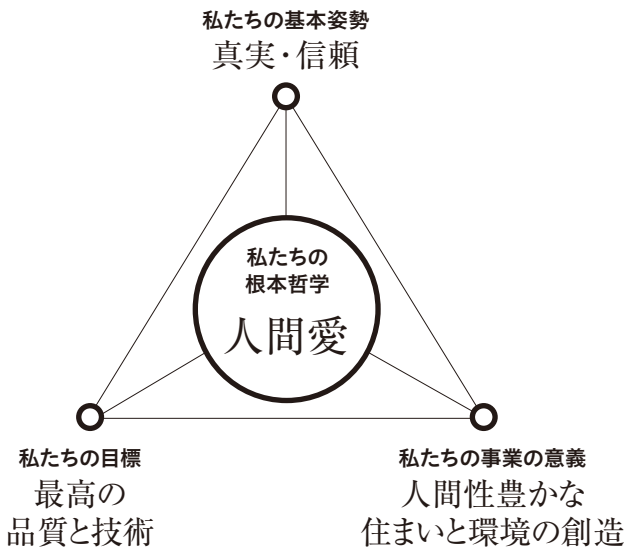


# 住まいから「4つの価値」を創造する

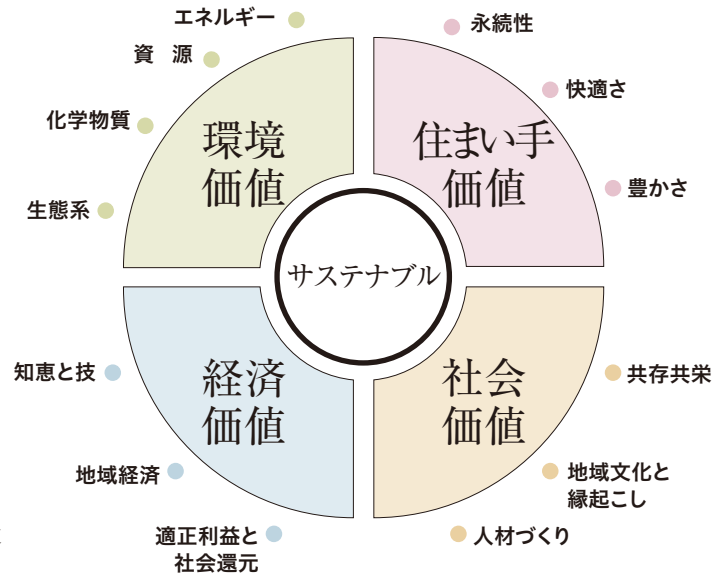
企業理念を礎に、社会の変化やニーズに即応し、住まいを通じて価値を創造・提供してきた積水ハウスグループ。2005年には、目指すべき「持続可能な社会」をビジョンとして定義し、これを実現・検証するため「環境」「経済」「社会」「住まい手」という「4つの価値」によるバランスのとれた経営を目指すことを宣言。その後も社会動向やニーズに対応する新商品・新技術開発を加速させ、「4つの価値」を創出してきました。これからも共有価値の創造を継続していくことで、持続可能な発展を目指します。

## 企業理念



「人間は夫々かけがえのない貴重な存在である」という認識の下に、相手の幸せを願い、その喜びを我が喜びとする奉仕の心をもって何事も誠実に実践する事である」という「人間愛」を根本哲学としています。全従業員での討議を経て、1989年に制定しました。

## 「4つの価値」に基づく「13の指針」



2005年、「持続可能性」を経営の基軸に据え、「4つの価値」によるバランスのとれた経営を目指す「サステナブル・ビジョン」を発表。その行動指針となる「4つの価値」に基づく「13の指針」を2006年に策定しました。

積水ハウスの取り組み

- 1960年 積水ハウス創立
- 1979年 住宅業界初の実大振動実験
- 1981年 日本初の「障がい者モデルハウス」建設
- 1982年 自然エネルギーを活用した「PSH-21 (パッシブソーラーハウス)」発売
- 1989年 「企業理念」制定
- 1996年 住宅業界で初めて高性能遮熱断熱複層ガラスを標準採用した「セントレージΣ」発売

社会動向など

- 日本の高度成長期 オイルショック
- 1981 新耐震設計基準施行
- 1985 オゾン層保護のためのウィーン条約採択
- 1992 ブラジルで地球サミット開催
- 1993 環境基本法公布・施行

- 1999年 「環境未来計画」発表
- 2001年 「5本の樹」計画開始 シックハウス対策として内装仕上げ材をFc0・E0仕様に統一
- 2002年 全工場ゼロエミッション達成 「防犯仕様」を全戸建住宅に標準採用

- 1995 阪神・淡路大震災
- 2000 住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)施行
- 2002 「新・生物多様性国家戦略」策定 建設リサイクル法全面施行

- 2003年 「次世代省エネルギー仕様」を全戸建住宅に標準採用
- 2004年 「住宅防災」の総合的取り組み開始 「省エネ・防災住宅」発売
- 2005年 「サステナブル・ビジョン」発表 「まちづくり憲章」制定

- 2004 新潟県中越地震発生
- 2005 京都議定書発効
- 2006 住生活基本法施行

# 積水ハウスの歩み

## 積水ハウスグループが創造してきた共有価値

積水ハウスが創造してきた「4つの価値」の代表的な指標の過去10年間の推移を示しています。「環境価値」「社会価値」「住まい手価値」創出の取り組みの進展が「経済価値」の向上につながっていることが分かります。

